

大雨による土砂災害



土砂災害とは

土砂災害は大雨や地震などにより山やがけが崩れたり、水と混じりあった土や石、流木などが川から流れ出ることで家屋や人命に被害を及ぼす自然災害です。

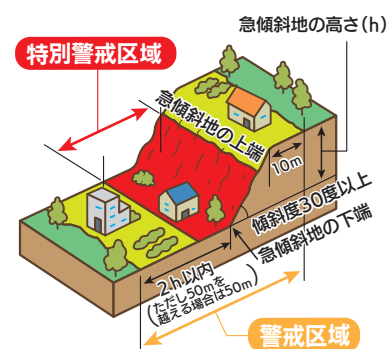
土砂災害の種類と土砂災害警戒区域等

土砂災害は主に急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）、土石流、地すべりの3種類があります。

京都府は土砂災害のおそれのある区域を指定しており、想定される被害の大きさに応じて「土砂災害警戒区域」と「土砂災害特別警戒区域」に分かれています。

- 「土砂災害警戒区域」（イエローゾーン）：土砂災害が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生じるおそれがある区域
- 「土砂災害特別警戒区域」（レッドゾーン）：土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがある区域

急傾斜地の崩壊 (がけ崩れ)



土石流



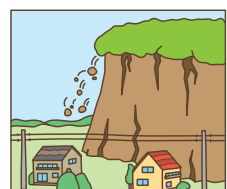
地すべり



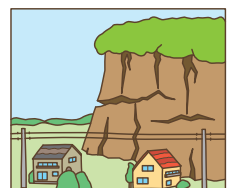
土砂災害の前兆現象

！このような現象は土砂災害の**前兆現象**です。すぐに避難が必要です。

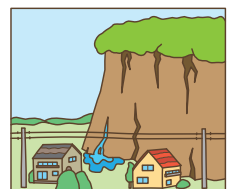
急傾斜地の崩壊 (がけ崩れ)



がけから小石がばらばらと落ちてくる

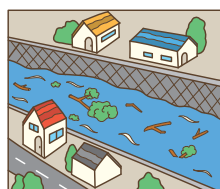


がけに割れ目が見える

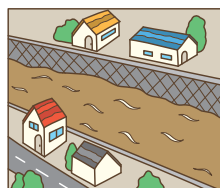


がけから水が湧き出てくる

土石流



急に流木がまざる

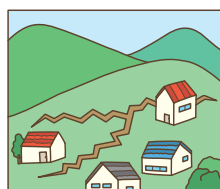


急に川の流が濁る



雨が降り続けているのに川の水位が下がる

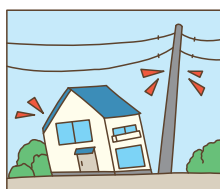
地すべり



亀裂が発生する



斜面から水が湧き出てくる



建物や電柱、樹木が傾く

土砂災害警戒区域等の指定状況

京都府は、土砂災害防止法に基づき基礎調査を行い、土砂災害警戒区域等の指定・公示を行っています。

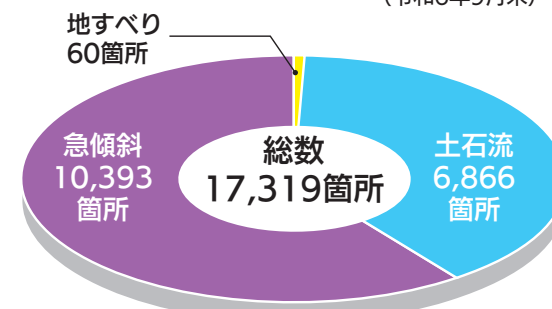
長岡京市内の土砂災害警戒区域等は57箇所が指定されています。(令和6年12月末現在)

京都府ホームページ
「長岡京市の指定状況」
二次元コード



<https://www.pref.kyoto.jp/dosyashitei/1299461425649.html>

京都府内の土砂災害警戒区域等 (令和6年9月末)



集計時期の違い等により、ここに記載している指定数と京都府が公表している市町村別指定数の合計が一致しない場合があります。

土砂災害警戒区域等に指定されたら

【土砂災害警戒区域】 (イエローゾーン)

●警戒避難体制の整備

土砂災害による被害を防止・軽減するため、ハザードマップの作成・配布等による危険の周知や、警戒避難体制の整備が図られます。

【市町村】

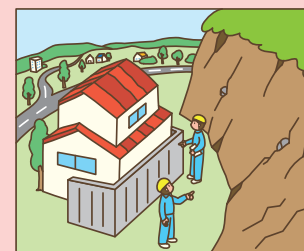


【土砂災害特別警戒区域】 (レッドゾーン)

●建築物の構造規制

居室を有する建築物は、建築基準法に定められた、作用すると想定される衝撃等に対して建築物の構造が安全であるかどうか建築確認がされます。

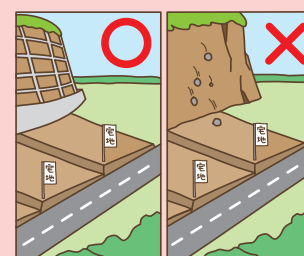
【都道府県または市町村】



●特定開発行為に対する許可制

住宅宅地分譲や災害時要支援者関連施設の建築のための行為は、基準に従ったものに限って許可されます。

【都道府県】



●建築物の移転等の勧告

著しい損壊が生じるおそれのある建築物の所有者等に対し、移転等の勧告が図られます。移転等については、住宅金融支援機構の融資等の支援を受けられます。

【都道府県】

